



ALUMNI

- あらむない -

都立墨田工業高校
学友会(同窓会)
略称「学友会」
事務局 発行

東京都立墨田工業高等学校 学友会(同窓会)

〒135-0004 東京都江東区森下5-1-7 TEL 03-3631-4928 FAX 03-3846-6683

〒振替 00130-4-779048 (学友会運営基金支援振替番号)

学校創立120周年記念

記念集録 (DVD) を作成！！



無人の会場で熱演される大村先生

◆ ノーベル賞受賞の大村先生 母校のために熱演

母校元教諭・北里大学特別栄誉教授(平成27年ノーベル生理学・医学賞受賞者)大村 智博士が母校のために1時間にわたり熱演されました。数名の関係者以外は無人の会場で録画された大村先生の特別記念講演動画をメインに音声入の校歌・歴代校長有志の挨拶、全・定同窓会会長挨拶及び墨工校史をまとめたDVDがまもなく完成します。

昨年度は東京都から記念事業予算を認められていましたが、1年延期になったため今年度は予算が認められず経費削減のため先生達が自ら作成した記念すべき貴重な記念集録(DVD)です。



撮影中の山本副校長先生

大村先生・講演料無料の依頼を快諾

予算のない事情を知らされた大村先生は、会場の提供だけではなく、講演料は“無料”との誠に厚かましいお願いを快諾してくださいました。

講演は、北里大学大村記念研究所の大村記念ホールにてあたかも墨工生徒が聴講しておられるような雰囲気のもとで行われました。先生の熱演は予定の時間を大幅に超えて行われ、DVDの容量が不足してしまい編集には大変ご苦労されたようでした。

お話しの内容は「私の半生 高校時代から今日まで」と題するもので、今日の原点は墨工にある、とのお言葉を先生から直節聞くことができたのは感激でした。

工業高校は生徒数の漸減で東京都教育委員会は様々な改革を試みています。伝統の墨工もその例外ではなく、その過程で、墨田工業高校の名称を変更することが検討されているようです。

墨工創立120年記念のDVDを共有して、会員各位と在校生・地域が一体となって伝統を誇る墨工の更なる発展のために取り組むことが望まれます。

母校のご支援をよろしくお願いします。



不透明な時代を迎えて

都立墨田工業高校学友会(同窓会)
会長 黒河志光
(昭和40年機械科1組卒)

学友会会員の皆様お変わりございませんでしょうか？

日本では収束するかに見えた新型コロナウイルスが姿を変異させ猛威を振るっております。数年前のコロナ発症前には考えられない様々な問題が起きております。身近な経済活動に於いても、半導体、輸入原材料、各種機器類等の品不足、私の会社でも制御盤の製作が大幅に遅れ大変困っています。

国や都ではテレワークの推進を呼びかけておりますが、我々メーカーは机の上でものを作ることには出来ません。ここまでくると一刻も早く国が通常のインフルエンザ並の扱いにして貰いたいと思いますが皆様は如何でしょうか？

また、過日起こったトンガでの海底火山の噴火という、人間の力ではどうにもしようもない重大な事が起きました。自然の前には人間の力の無力さをまざまざと見せつけられた出来事でした。

今、学友会では大村先生の偉業を称え、墨工の存続の一助になるべく全日制同窓会と力を合わせ墨工横の道路に大村先生由来の名称を付する運動を行っております。会員各位におかれましても折あらば、是非ともご協力をお願いする次第でございます。

不透明な時代でもあり、なかなか会合を持てませんが、健康が第一です。お互いに体には十分に目配をしながら明日に向けて頑張りましょう。

令和4年新春





「定時制講師での経験」

東京都立墨田工業高等学校
第26代校長 古藤 一弘

学友会の皆さま。はじめまして、令和3年4月1日付で校長として着任しました

古藤一弘(ことう かずひろ)です。前任校は、文京区にある工芸高校で、私が着任した平成29年(2017年)に110周年を迎えました。さらに、前任の杉浦校長先生とは、北豊島工業高校で同時期に私は副校長として勤務しましたが、その北豊島工業高校も令和2年(2020年)に100周年を迎えており、赴任先が墨田工業高校だと聞かされたとき、伝統校との縁を強く感じました。また、延期となっている120周年の周年行事を実施することに、やりがいと大きなプレッシャー、そして緊張感を抱いての着任となりました。

さて、私と定時制との関係は、初任校の荒川工業高校で勤務する傍ら、定時制の講師を頼まれたことから始まります。荒川工業高校は電気系の学校ですが、実習に機械実習というパートがあり、当時定時制の教頭先生が機械科の教員だったことから機械科である私へ声を掛けられました。当時の全日制の生徒は、なかなかのやんちゃぶりを学校内外で発揮しており、常に走り回る日々でまるで運動会のようにでしたが、定時制の生徒はどこか大人っぽく感じられ、落ち着いた雰囲気があり静かに授業を行っていました。

ある日の製図の授業を担当していた時、防寒用のジャンパーにニッカポッカ、そして地下足袋といった服装で、遅れて製図室に入ってきた生徒がいました。一瞬その姿に驚きましたが、「仕事が長引いたから現場から直接来た」と聞いたとき、「よく来たな」とその生徒を褒めたことを覚えています。仕事が予定より長引いたとき、それを理由に学校を休んでしまいがちですが、仕事と学業をきちんと両立しているところに感心させられました。ですから、仕事にも学校にも中途半端なクラスメイトに対しては、とても厳しいところがありました。仲間だから言える叱咤激励のような、相手を思う気持ちが強くあったように思います。

私にとっては、とても貴重な経験のできた4年間でした。

さて、現在、本校の在籍生徒数は47名で内1名が女子です。決して多い人数ではありませんが、多くの生徒が遅刻せず毎日登校し、学業に勤しみながら資格取得にも励み、将来の目標に向かって頑張っている姿は、頼もしくもあり、微笑ましくもあります。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、学校行事の多くが中止または延期となり、生徒にはとても申し訳なく思っています。さらに、周年行事も中止と判断せざるを得なくなり、ノーベル生理学・医学賞を受賞なされた大村 智先生(現北里大学特別荣誉教授)のご講演を、生徒が直接聞ける貴重な機会が失われたことは、とても残念でなりません。大村先生が中心となり開発されたイベルメクチンについて、生徒が聞いたらどんな反応を示すのか、興味があったのですが仕方がありません。

ただ、このような立派な先生が本校で勤務されて、卒業後様々な分野で活躍する人材育成に貢献されたこと。その後、研究者としての道を歩まれてからは、寄生虫病などに罹患した世界中の人々の命を救ってこられた功績を長く生徒に語り続け、生徒にとって誇りとなるよう伝えていきたいと思っております。

校友会の皆さまにおかれましては、今後とも本校の発展のため、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

※学友会第6回総会

コロナ禍のためやむなく中止！！

◆第27期運営体制は26期を継承

書面開催の評議員会にて了承される

【第27期運営体制】

コロナ禍のため異例の書面会議だった第27期評議員会において第27期の運営体制は26期を継続することが承認されました。

その直後、副会長 野村郁夫さん(36M)から体調不良のため運営理事を退任したいとの書面が会長あて提出されました。急遽、運営理事会にその経緯を報告し、体調不良のこと故、やむなく退任を承認しました。第27期の運営体制は以下の通りです。

学友会 第27期(2021.9.1~2022.8.31)運営体制

敬称略

会 長	黒河 志光(40M1)	第11代名誉会長	古 藤 一 弘
副会長・会計	町谷 芳郎(34M1)	同 名誉会長代理	山 本 将 英
幹事長・事務局	根本 康雄(36M1)		
会 計	石塚 敬一(42M1)	会計監事	平野 新作(31E)
副幹事	菊谷 茂夫(43A)	会計監事	佐藤 忠(36M2)
理 事			
山本 順一郎(27A)	風間 道雄(35E)	松井 邦彦(36M2)	林田 元宏(36A)
渋谷 朋衛(37E)	川野 一夫(38E)	伊藤 榮(40M1)	平田 実(42M1)
戸田 明(52A)	田中 洋(55A)	田代 克美(1M1)	横山 良太(H1E)
渡辺 正敏(H1E)	栗原 俊昌(H5A)	片山 勇(H19 総合)	阿部 里志(H25 総合)

【第26~27期活動報告】

令和3年1月~12月における活動は新型コロナウイルス感染防止対策の影響を受け停滞してしまいました。概要は以下の通りです。

1. 会議の開催

第26期 第1回理事会 書面開催(総会開催可否について:令和3年6月10日付)

第26期 第2回理事会 書面開催(評議員会議案書審議:令和3年8月23日付)

第27期 評議員会 書面開催(令和3年9月21日付)

2. 新入会員の入会

平成3年度卒業生10名全員に入会していただきました。入会記念として校名入り「ネームカード」を贈りました。また、4年間皆勤及び精勤の4名の方々にお祝いの図書カードを贈りました。

新入会の皆さんの今後のご活躍を祈念しております。

3. 広報誌「ALUMNI」37号の発行

350部を作成し、教職員・在校生、学友会評議員、広告掲載協力者の皆様に贈りました。
 全会員に配布したいのですが費用や事務量の関係で現在の運営体制では難しい状況です。

4. 母校との連携

- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策のため入学式、卒業式には参加できませんでした。
- ・ 文化祭は中止となりました。
- ・ 学校運営協議会はいずれも書面会議となってしまいました。

5. 学校創立120周年記念事業について

- ・ 120年記念DVD作成支援(1ページ参照)
- ・ 区道3140の道路愛称名命名活動(7ページ特別報告参照)

◆学友会第26期 決算報告

【1】 収入

事項	予算額	決算額	説明
前年度繰越金	1,418,144	1,418,144	
入会金	0	50,000	R3年卒業生10名全員入会
その他	60,012	50,010	広告収入、有志支援金、利子
収入合計	1,478,156	1,518,154	

【2】 支出

事項	予算額	決算額	説明
活動費	180,000	141,751	アラムナイ発行等を含む
通信費等	110,000	27,989	広報費等を含む
会議費等	45,000	18,420	事務費等を含む
その他	130,000	0	創立120年事業費等を含む
支出合計	465,000	188,160	
次年度繰越金	1,013,156	1,329,994	
総合計	1,478,156	1,518,154	

【第27期活動計画】

※第27期(令和3年9月～令和4年8月)の活動は第26期を継続することとします。

◆学友会第27期 予算計画

【1】 収入

事項	予算額	説明
前年度繰越金	1,329,994	
入会金	10,000	
120年協賛金	50,000	
雑収入	50,010	広告・利子等
収入合計	1,440,004	

【2】 支出

事項	予算額	説明
活動費	180,000	
通信費等	110,000	
会議費等	30,000	
事務費等	45,000	
120年事業費	100,000	DVD購入
支出合計	465,000	

*次年度繰越金 975,004円

【母校便り】

母校の校名 変更か？

東京都教育庁では科学技術の急速な発展と社会環境の変革に対応する新たな教育プログラムと人材育成のため都立高校改革推進計画を進めています。

この計画で墨工の校名を変更することを検討していることが明らかになりました。墨工は、時代の変革を先取りして墨工に改称して72年が経過し、三度目の生まれ変わりをしようとしています。

我が国が工業立国として国際社会で活躍するためには工業高校の使命が変わることはありません。

校名変更には一抹のさみしさを拭えませんが更なる母校の発展を期待し支援しましょう。

◆生徒・職員の状況(令和3年12月現在)

学年	生徒数	担任	教職員の構成
1 学年	13 名(女子 0 名)	宇田川	*校長 古藤一弘 *副校長 山本将英 *教諭:機械・電気・建築大工・自動車コース 各 3 名 *国語・数学・英語・公民・保健体育・養護 各 1 名 計 18 名 *時間講師 7 名 *経営企画室 室長ほか 7 名(スクールカウンセラー 1 名)
2 学年	13 名(女子 1 名)	渡辺	
3 学年	6 名(女子 0 名)	宮崎	
4 学年	12 名(女子 0 名)	岡野	
総数	44 名(女子 1 名)		

◆主要行事

1. 生徒関係

- *令和2年度 卒業式 令和3年3月18日 卒業生 10名
- *令和3年度 入学式 令和3年4月7日 新入生 14名
- *令和3年度 卒業生 令和4年3月11日(予定) 卒業生 12名(予定)
進路決定者:就職内定8名、未定者4名(12月6日現在)

2. 会議等

- *学校運営協議会
学校、保護者、地域及びOB等関係者がよりよい学校運営のために協議する場です。
令和3年度はコロナ禍のため7月と12月にいずれも書面での開催でした。
- *学校防災教育推進委員会
地域と連帯した防災教育のあり方と生徒の自助の力と共助の心を育むための会議で12月の学校運営協議会に併せ書面での会議でした。

3. 教職員の異動

転出(令和3年3月31日付け)	転入(令和3年4月1日付け)
・校 長 杉浦 文俊(東部学校経営支援センター) ・副 校 長 秋谷 悟 (蔵前工高) ・主幹教諭 柳坂 武司(昇任 世田谷泉工・副校長) ・主任教諭 高岩 千尋(世田谷泉高・電気) ・主任養護教諭 山口 朋子(江戸川校・養護) ・教 諭 福田 慎也(小岩高・保健体育)	・校 長 古藤 一弘(工芸高校) ・副 校 長 山本 将英(蔵前工高) ・主任教諭 宇田川 弘(葛西高・電気) ・主任養護教 長島 美波(足立工・養護) ・教 諭 鮫島 鉄平(美原高・保健体育) ・教 諭 村中 仁 (新採卒・数学)

※その他 大学院修学休業 佐久間 渉(機械)

☆転出された皆様お世話になりました。有難うございました。☆転入された皆様よろしく願いたします。

【会員便り】

◆学校ホームページに学友会の活動が掲載されました

コロナ禍でもあり、なかなか会員相互の交流が難しいおり、学校の多大なご支援をいただき母校の公式ホームページに始めて学友会の活動を紹介していただくことができました。(令和3年12月24日号)今後も継続的に情報を発信していきたいと思っています。会員の皆さん・学校ホームページを是非閲覧ください。



学校ホームページに掲載のタイトル

◆会員情報

1. 新規入会

- *新規卒業生 10名全員 学友会に入会いただきました。
有難うございました。今後ともよろしく願いいたします。

2. 役員の動向

- *副会長辞任 野村郁夫さん(36M1 体調不良のため)
- *連絡不能となった評議員
小林隆さん(47M2) 北村和夫さん(H5M1) 中山克忠さん(H20A)
- *役員構成

評議員 M35名、E19名、A32名、総合43名 合計 129名 その内 理事 24名

3. 全日同窓会との交流

- *学校創立 120年記念事業、区道愛称命名請願の取り組み

【特別報告】

※区道 3140 号の道路愛称名 命名活動

*** 一步前進するも・・・苦戦！！**

第37号に活動の概要を報告しましたが、その後の取り組み状況を報告します。

*江東区区議会建設委員会の審議と傍聴について

令和3年3月9日、江東区区議会建設委員会において審議され、全定同窓会長ほか関係者が出席しました。事務局(土木部道路課)から江東区の「道路愛称名設置要綱」第3条(4)の個人名は使用できないという規定に抵触する。また、ノーベル財団から知的財産侵害の訴えを起こされるリスクがあることが報告されました。委員は概ね好意的でしたが継続審議となりました。その後、6、10、12月と4回の委員会が開催されましたがいずれも継続審議となっております。

*知的財産の取り扱いについて

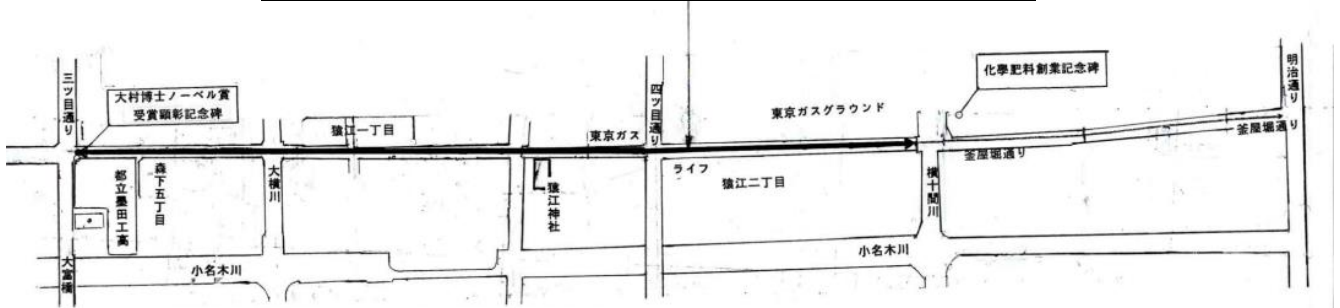
国の「工業所有権情報・研修センター(INPIT)」知財総合支援窓口に対応を相談し、問題はないと思うが、ノーベル財団の確認を取った方が良いとのアドバイスを受けてストックホルムの事務所に英文の承諾願いを送付しました。

*ノーベル財団の回答とその後の対応

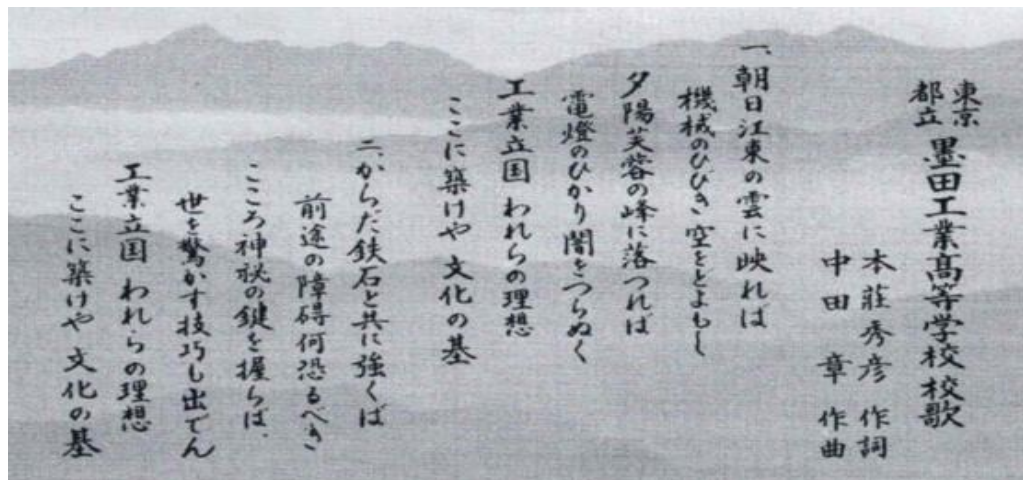
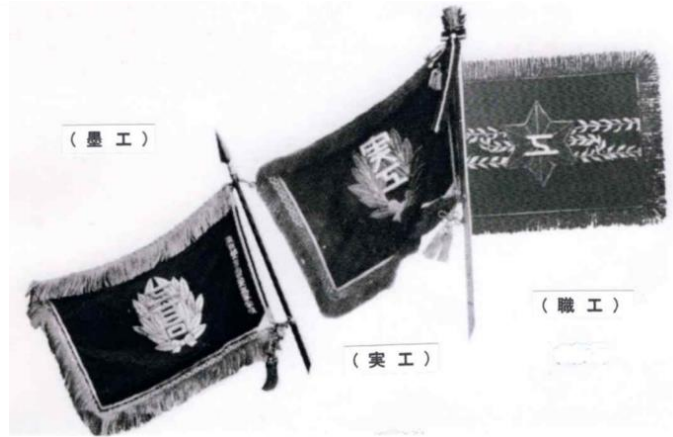
「ノーベル賞受賞者大村智博士通り」、「ノーベル賞受賞者大村智通り」の2案のほか「ノーベル賞通り」とすることは認めないとうものでした。

この回答をもとに事務局と調整を行い、正式に道路愛称命名の申請書が提出されれば受理するとの回答を得ました。申請書が受理されると「検討委員会」を立ち上げて審議を始めるとのことです。まだまだ実現には解決すべき課題が残されています。しかし、ようやく実現に向けて一歩前進しました。会員の皆様に、この間の墨工同窓会司茂会長のご尽力が多岐であったことを報告します。

区道 3140 号愛称命名陳情区間 延長約 1300m



墨工校旗の変遷



【お願い】

コロナ禍のもと、創立記念事業も思うに任せまず、学友会活動も同様ですが、会員各位におかれましてはそれぞれ感染防止に留意しながらご活躍のこととおもいます。

事務局はパソコン操作が不得手のため見苦しい点多々あるかとは思いますが何とか作成することができました。学友会活動はなんとと言っても皆様との連携が全てです。

連絡先が変わりましたら必ず学校(学友会事務局あて)までご連絡ください。

《学友会事務局》